

**CASBEE-新築(簡易版)2010年版**  
**フレッドマート宇治伊勢田店**

欄に数値またはコメントを記入

使用評価マニュアル CASBEE-新築(簡易版)2010  
 評価ソフト: CASBEE-NCb\_2010(v.1.4)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
<b>Q 建築物の環境品質</b>								<b>3.5</b>
<b>Q1 室内環境</b>			<b>0.40</b>					<b>3.9</b>
<b>1 音環境</b>		<b>3.0</b>	0.15	-	-	-	-	<b>3.0</b>
<b>1.1 騒音</b>		<b>3.0</b>	0.40	-	-	-	-	
1.1.1 室内騒音レベル		<b>3.0</b>	1.00	<b>3.0</b>	-	-	-	
2 設備騒音対策		-	-	-	-	-	-	
<b>1.2 遮音</b>		<b>3.0</b>	0.40	-	-	-	-	
1.2.1 開口部遮音性能		<b>3.0</b>	1.00	<b>3.0</b>	-	-	-	
2 界壁遮音性能		<b>3.0</b>	-	<b>3.0</b>	-	-	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		<b>3.0</b>	-	<b>3.0</b>	-	-	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		<b>3.0</b>	-	<b>3.0</b>	-	-	-	
<b>1.3 吸音</b>		<b>3.0</b>	0.20	<b>3.0</b>	-	-	-	
<b>2 温熱環境</b>		<b>3.3</b>	0.35	-	-	-	-	<b>3.3</b>
<b>2.1 室温制御</b>		<b>3.6</b>	0.50	-	-	-	-	
1 室温		<b>3.0</b>	0.50	<b>3.0</b>	-	-	-	
2 負荷変動・追従制御性		-	-	-	-	-	-	
3 外皮性能		<b>3.0</b>	0.17	<b>3.0</b>	-	-	-	
4 ゾーン別制御性	売り場のゾーン毎、テナント毎等にパッケージエアコンを設置している。	<b>5.0</b>	0.33	-	-	-	-	
5 温度・湿度制御		-	-	-	-	-	-	
6 個別制御		-	-	-	-	-	-	
7 時間外空調に対する配慮		-	-	-	-	-	-	
8 監視システム		-	-	-	-	-	-	
<b>2.2 湿度制御</b>		<b>3.0</b>	0.20	<b>3.0</b>	-	-	-	
<b>2.3 空調方式</b>		<b>3.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	-	-	-	
<b>3 光・視環境</b>		<b>5.0</b>	0.25	-	-	-	-	<b>5.0</b>
<b>3.1 昼光利用</b>		<b>5.0</b>	0.50	-	-	-	-	
1 昼光率		<b>3.0</b>	-	<b>3.0</b>	-	-	-	
2 方位別開口		-	-	<b>3.0</b>	-	-	-	
3 昼光利用設備	ハイサイドライトを設置し昼光利用を行っている。	<b>5.0</b>	1.00	<b>3.0</b>	-	-	-	
<b>3.2 グレア対策</b>		-	-	-	-	-	-	
1 照明器具のグレア		-	-	-	-	-	-	
2 昼光制御		<b>3.0</b>	-	<b>3.0</b>	-	-	-	
3 映り込み対策		-	-	-	-	-	-	
<b>3.3 照度</b>		<b>3.0</b>	-	<b>3.0</b>	-	-	-	
<b>3.4 照明制御</b>	売り場の照明をゾーン別に調光できるようにしている。	<b>5.0</b>	0.50	<b>3.0</b>	-	-	-	
<b>4 空気環境</b>		<b>4.3</b>	0.25	-	-	-	-	<b>4.3</b>
<b>4.1 発生源対策</b>		<b>5.0</b>	0.50	-	-	-	-	
1 化学汚染物質	建物の仕上等は、全てF の材料を使用する。	<b>5.0</b>	1.00	<b>3.0</b>	-	-	-	
2 アスベスト対策		-	-	-	-	-	-	
3 ダニ・カビ等		-	-	-	-	-	-	
4 レジオネラ対策		-	-	-	-	-	-	
<b>4.2 換気</b>		<b>4.0</b>	0.30	-	-	-	-	
1 換気量	シックハウスの換気量の1.4倍以上の換気能力を有している。	<b>5.0</b>	0.50	<b>3.0</b>	-	-	-	
2 自然換気性能		<b>3.0</b>	-	<b>3.0</b>	-	-	-	
3 取り入れ外気への配慮		<b>3.0</b>	0.50	<b>3.0</b>	-	-	-	
4 給気計画		-	-	-	-	-	-	
<b>4.3 運用管理</b>		<b>3.0</b>	0.20	-	-	-	-	
1 CO <sub>2</sub> の監視		<b>3.0</b>	0.50	-	-	-	-	
2 喫煙の制御		<b>3.0</b>	0.50	-	-	-	-	
<b>Q2 サービス性能</b>		-	0.30	-	-	-	-	<b>3.8</b>
<b>1 機能性</b>		<b>4.2</b>	0.40	-	-	-	-	<b>4.2</b>
<b>1.1 機能性・使いやすさ</b>		<b>3.0</b>	0.40	-	-	-	-	
1 広さ・収納性		<b>3.0</b>	-	<b>3.0</b>	-	-	-	
2 高度情報通信設備対応		<b>3.0</b>	-	<b>3.0</b>	-	-	-	
3 バリアフリー計画	バリアフリー法の誘導基準以上を満たしている。	<b>4.0</b>	1.00	-	-	-	-	
<b>1.2 心理性・快適性</b>		<b>3.6</b>	0.30	-	-	-	-	
1 広さ感・景観	売り場の天井高さは、3.6mとしている。	<b>5.0</b>	0.33	<b>3.0</b>	-	-	-	
2 リフレッシュスペース		<b>1.0</b>	0.33	-	-	-	-	
3 内装計画	冷凍ケース、棚、内装材、装飾等全体の空間計画を検証している。	<b>5.0</b>	0.33	-	-	-	-	
<b>1.3 維持管理</b>		<b>5.0</b>	0.30	-	-	-	-	
1 維持管理に配慮した設計	防汚性の高い材料、納まりを配慮している。	<b>5.0</b>	0.50	-	-	-	-	
2 維持管理用機能の確保	メンテナンスの経験により、充分な配慮を行っている。	<b>5.0</b>	0.50	-	-	-	-	
3 衛生管理業務		-	-	-	-	-	-	
<b>2 耐用性・信頼性</b>		<b>3.2</b>	0.31	-	-	-	-	<b>3.2</b>
<b>2.1 耐震・免震</b>		<b>3.0</b>	0.48	-	-	-	-	
1 耐震性		<b>3.0</b>	0.80	-	-	-	-	
2 免震・制振性能		<b>3.0</b>	0.20	-	-	-	-	
<b>2.2 部品・部材の耐用年数</b>		<b>3.1</b>	0.33	-	-	-	-	
1 躯体材料の耐用年数		<b>3.0</b>	0.23	-	-	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		<b>2.0</b>	0.23	-	-	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	仕上の表層については模様替を配慮し20年以下の材料使用。	<b>4.0</b>	0.09	-	-	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		<b>3.0</b>	0.08	-	-	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	B又はCの材料使用。	<b>5.0</b>	0.15	-	-	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		<b>3.0</b>	0.23	-	-	-	-	

<b>2.4 信頼性</b>			<b>4.0</b>	0.19	-	-	-
1	空調・換気設備	ゾーン毎に系統を分け、又耐震性配慮。	5.0	0.20	-	-	-
2	給排水・衛生設備	ゾーン毎に系統分け、節水型の器具使用又、排水槽設置。	5.0	0.20	-	-	-
3	電気設備		3.0	0.20	-	-	-
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	-
5	通信・情報設備	光ケーブル・携帯併用。地下への情報端末非設置	4.0	0.20	-	-	-
<b>3 対応性・更新性</b>			<b>3.9</b>	0.29	-	-	<b>3.9</b>
<b>3.1 空間のゆとり</b>			<b>5.0</b>	0.45	-	-	-
1	階高のゆとり	階高4.65m確保	5.0	1.00	3.0	-	-
2	空間の形状・自由さ		-	-	3.0	-	-
<b>3.2 荷重のゆとり</b>			-	-	3.0	-	-
<b>3.3 設備の更新性</b>			<b>3.1</b>	0.55	-	-	-
1	空調配管の更新性		3.0	0.17	-	-	-
2	給排水管の更新性	PS・天井裏による配管により更新性を配慮	4.0	0.17	-	-	-
3	電気配線の更新性		3.0	0.11	-	-	-
4	通信配線の更新性		3.0	0.11	-	-	-
5	設備機器の更新性		3.0	0.22	-	-	-
6	バックアップスペース		3.0	0.22	-	-	-
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>			-	0.30	-	-	<b>2.6</b>
<b>1 生物環境の保全と創出</b>			<b>1.0</b>	0.30	-	-	<b>1.0</b>
<b>2 まちなみ・景観への配慮</b>		道路等からの景観、町並みへの調和、緑化等を配慮。	<b>4.0</b>	0.40	-	-	<b>4.0</b>
<b>3 地域性・アメニティへの配慮</b>			<b>2.5</b>	0.30	-	-	<b>2.5</b>
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	-
3.2	敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50	-	-	-
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>			-	-	-	-	<b>3.7</b>
<b>LR1 エネルギー</b>			-	<b>0.40</b>	-	-	<b>3.9</b>
<b>1 建物の熱負荷抑制</b>			<b>3.0</b>	0.30	-	-	<b>3.0</b>
<b>2 自然エネルギー利用</b>			<b>4.5</b>	0.20	-	-	<b>4.5</b>
2.1	自然エネルギーの直接利用	ハイサイドライトによる昼光利用	4.0	0.50	-	-	-
2.2	自然エネルギーの変換利用	太陽光パネルによる自然エネルギーの利用	5.0	0.50	-	-	-
<b>3 設備システムの高効率化</b>		高効率化設備の採用	<b>5.0</b>	0.30	-	-	<b>5.0</b>
		集合住宅以外の評価 (ERRによる評価)	5.0		-	-	-
		集合住宅の評価	3.0		-	-	-
<b>4 効率的運用</b>			<b>3.0</b>	0.20	-	-	<b>3.0</b>
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	-
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	-
<b>LR2 資源・マテリアル</b>			-	<b>0.30</b>	-	-	<b>3.8</b>
<b>1 水資源保護</b>			<b>3.4</b>	0.15	-	-	<b>3.4</b>
1.1	節水	節水型の器具を利用。	4.0	0.40	-	-	-
1.2	雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	-
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67	-	-	-
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.33	-	-	-
<b>2 非再生性資源の使用量削減</b>			<b>4.0</b>	0.63	-	-	<b>4.0</b>
2.1	材料使用量の削減	構造躯体の鉄骨材を高強度材料とする。	4.0	0.07	-	-	-
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.25	-	-	-
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.21	-	-	-
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	再生加熱アスファルト混合物・再生骨材の路盤材利用・タイル	5.0	0.21	-	-	-
2.5	持続可能な森林から産出された木材		-	-	-	-	-
2.6	部材の再利用可能性向上への取り組み	乾式の仕上げ工法により分別可能な解体可能。	5.0	0.25	-	-	-
<b>3 汚染物質含有材料の使用回避</b>			<b>3.6</b>	0.22	-	-	<b>3.6</b>
3.1	有害物質を含まない材料の使用	指定化学物質を使用しない材料を採用	5.0	0.32	-	-	-
<b>3.2 フロン・ハロンの回避</b>			<b>3.0</b>	0.68	-	-	-
1	消火剤		-	-	-	-	-
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	-	-
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	-
<b>LR3 敷地外環境</b>			-	<b>0.30</b>	-	-	<b>3.6</b>
<b>1 地球温暖化への配慮</b>		ライフサイクルCO2に対する配慮を行っている	<b>4.8</b>	0.33	-	-	<b>4.8</b>
<b>2 地域環境への配慮</b>			<b>2.7</b>	0.33	-	-	<b>2.7</b>
2.1	大気汚染防止		3.0	0.25	-	-	-
2.2	温熱環境悪化の改善		2.0	0.50	-	-	-
<b>2.3 地域インフラへの負荷抑制</b>			<b>4.0</b>	0.25	-	-	-
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	-
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	-
3	交通負荷抑制	適切な駐車場・駐輪場を確保。渋滞対策考慮	5.0	0.25	-	-	-
4	廃棄物処理負荷抑制	ゴミの分別・削減 処分に対する対応考慮	5.0	0.25	-	-	-
<b>3 周辺環境への配慮</b>			<b>3.2</b>	0.33	-	-	<b>3.2</b>
<b>3.1 騒音・振動・悪臭の防止</b>			<b>3.0</b>	0.40	-	-	-
1	騒音		3.0	0.33	-	-	-
2	振動		3.0	0.33	-	-	-
3	悪臭		3.0	0.33	-	-	-
<b>3.2 風害、日照障害の抑制</b>			<b>3.0</b>	0.40	-	-	-
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	-
2	砂塵の抑制		3.0	-	-	-	-
3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	-
<b>3.3 光害の抑制</b>			<b>4.4</b>	0.20	-	-	-
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	光害対策を考慮	5.0	0.70	-	-	-
2	屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	-